

石油、ゴム、錫の寶庫

裸一貫邦人突撃の百八十年

〔タンジョンカランにて豊川焦點はこの眼前のスマトラに特派員發〕南の海は澄んでゐるのだ。千尋の底に揺れる、海草の影さへみえる。スンダ海峡消えてやがて空と水との切斷の海の色である。ジャバとスのあたりに雲かとまがふ煙をかきめる飛魚の群。

無限!

天産の寶庫

記者は早朝ジャババタラの難断の旅に出た。スマトラは蘭領東印度諸島の最西端にある巨大な島、西岸を印度洋の波濤にさらす島である。廣袤四百五十萬平方公里。(内地)に人口僅か八百萬、アチナカボーラ、バタックなどの原始諸族が傳統と奇習の搖籃に眠るといふ世界第三位の天産に恵まれた寶庫である。日本で最も多く出されたの島から産する。日本でも數日間、太陽は樹の散地である。ホタルの燃されたやうに暗づかた。それは川崎近次郎(六六)氏香に依存してゐることは有名である。實に『蘭印問題』の活動をはじめた。海中からである。

蘭印の列國向輸出狀況 (單位千ギルダ)

商品別	日本	和蘭	米國	獨逸	英國
石油及生品	六、四一五	二、〇六	二、一五	一、七七	一、七二
ココナツ油	四、三二八	九、七七八	一、〇八	一、七二	一、七二
錫 ココナツ油	一、二〇八	一、二〇八	一、二〇八	一、二〇八	一、二〇八
椰子油	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七
規那皮	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九
タビオカ	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五
硬質織維	一二一	一五三	二、三三三	一、四九五	一、四九五
胡椒	一一〇	一四四三	四、九八一	四〇一	四〇一
カボック	一一〇	一〇八六	二、四七三	二	二
計	一〇、五二一	一三四、一〇〇	八九、二八五	二三、七二五	二三、七二五
三・二二%	一一〇、四〇%	一三、五八%	一三、五八%	三・六一%	三・六一%
五・三四%	一三、五八%	五・三四%	五・三四%	五・三四%	五・三四%

（注）字の（在留地）は凡て邦

字を以て記入すること

ク紙用ふるもの差支なきも

この場合には願書未段に帝國

領事の奥書證印を爲す必要

ある。

右の申告紙により郵便送付より

とす

